

ブロードバンドビジネス市場調査を実施

音楽配信サービス市場は2008年400億円規模へ(対03年比 6667%)

総合マーケティングビジネスの(株)富士キメラ総研(東京都中央区日本橋小伝馬町 社長 表 良吉 03-3664-5841)は、ADSL、FTTHが普及し、それらを活用したサービスが立ち上がったブロードバンドビジネスに関する調査を行った。その結果を報告書「2005ブロードバンドビジネス市場調査総覧」にまとめた。

<ブロードバンドビジネスの現状>

市場は、事業者間の競争によって低価格化が進んだADSLサービスが牽引してきたが、2003年以降はより広帯域を実現するFTTHサービスが普及しはじめている。また、IP-VPNサービスや広域イーサネットサービスなどのVPNサービスの普及により企業ネットワークのブロードバンド化も進み、インターネットVPNのようなより安価なサービスへ注目が集まっている。現在では、このようなブロードバンドインフラを活用するアプリケーションサービスが展開されている。急速なブロードバンド化を促進した大きな要因でもあるインフラサービスの低価格化は、当該ビジネスに関わる企業にとって収益面での懸念材料となっており、事業拡大にむけてブロードバンドで実現できる高付加サービスの提供が積極的に進められている。IP電話サービスやIPセントレックスサービスなどに続き、IPTV電話サービスやテレビ会議サービス、ブロードバンド放送といった、ブロードバンドの高速、広帯域性を活用できる映像系サービスの動向が注目されている。

<調査結果の概要>

1. ネットワークインフラビジネス

ブロードバンドアクセス市場(FTTHサービス、ADSLサービス、CATVインターネットサービス)
2008年加入者数予測 3,549万人(対03年比 233%)

2003年度ブロードバンドアクセスサービス加入者は1,522万人となった。そのうち70%以上をADSLが占めている。2003年後半から2004年にかけて、FTTHサービス事業者が活発に実施している月額料金引き下げや初期費用無料キャンペーン、「0AB~」形式のIP電話サービスなどがFTTH加入者を増加させている。今後はIP電話サービスの他、放送サービスや音楽配信など、アプリケーションサービスの充実がFTTHサービス加入者数の増加を促進すると考えられる。

VPNサービス(IP-VPNサービス、広域イーサネットサービス、インターネットVPNサービス)
2003年 2,427億円 2008年予測 3,780億円(対03年比 156%)

企業ネットワークの広帯域化やコスト削減を目的に、従来の専用線やフレームリレーからの乗り換えが進んでいる。現在の主力であるIP-VPNを中心にした展開と考えられるが、サービス事業者各社では、広域イーサネットやインターネットVPNをトータルで提供し、ユーザーニーズに柔軟に対応していくスタンスを取っている。そのため、用途や事業所規模などに応じて各サービスを併用するケースが増加していくと見られ、市場は一層の拡大が予測される。

モバイル/ワイヤレスブロードバンド(ホットスポットサービス、FWA、3G携帯電話サービス)

3G携帯電話市場が順調に成長している。W-CDMAやCDMA2000への乗り換えが進んだことやパケット料金定額制の開始が市場に好影響を与えている。一方、FWA(Fixed wireless Access)サービスはADSLやFTTHと比較し、利用メリットを打ち出しづらいこと、ホットスポットはサービスエリアが狭いという課題を抱えている。

2. プラットフォームビジネス

ブロードバンド環境の普及により、各種関連サービスの利用が増加していることから、プラットフォームビジネスのニーズが拡大している。「インターネット・サービスプロバイダー」「インターネットデータセンター」「コンテンツ配信プラットフォーム」「EC（電子取引）サイト運営サービス」「課金・決済プラットフォーム」「IPv6サービス」を含むプラットフォームビジネス全体の2003年度の市場規模は1兆888億円であり、2008年度には2兆7,100億円規模へ成長が見込まれる。

<注目市場>

コンテンツ配信プラットフォーム

2003年 90億円 2008年予測 400億円（対03年比 444%）

ブロードバンドの普及、通信速度向上により、企業のプロモーションとしての情報発信だけではなく、ブロードバンド放送や音楽配信などの利用が増加しており、市場は高い成長率を示している。コンテンツはパソコンで視聴するケースが大半であるが、今後は視聴形態がNonPCへと拡大していくと見られる。

課金・決済プラットフォームビジネス

2003年 500億円 2008年予測 2,300億円（対03年比 460%）

インターネットへの常時接続環境が普及し、ECやコンテンツ販売などのインターネット上での商取引が増加したことから、ネットビジネスにおける決済手段の利用が増加している。クレジットカードを利用したオンライン決済を中心として、ISPサービス料金と共に支払うプロバイダ課金やネット銀行など新たな個人情報の入力がない決済手段が今後普及すると考えられる。

3. 関連サービス

ブロードバンドインフラの高速性、常時接続性をいかにした各種サービスがブロードバンド人口の増加に伴い登場している。ブロードバンドサービスの普及が関連サービス市場を拡大させる一方、魅力的なサービスの増加がブロードバンド加入者を増加させるという相関関係が成り立っている。従来からFTTHならではのサービスが期待されていたがキラーコンテンツとなるものが登場しなかった。しかし、2004年以降、「OAB~J」方式のIP電話サービスの提供が本格化したことが、FTTHサービスの加入者数増加を促し始めている。その他、FTTHのトリプルプレイに代表されるように「ブロードバンド放送」や「音楽配信サービス」が有望視される。

<注目市場>

音楽配信サービス

2003年 6億円 2008年予測 400億円（対03年比 6667%）

当該市場へレコード会社以外の参入が増加したのは2004年からであるため、今後サービスの認知度向上や楽曲数の増加など、サービス面の改善によって、市場拡大が期待される。提供楽曲もレコード会社で積極的に増加させる傾向にある。「CD-Rへの書き込み」「機器への転送回数無制限」など徐々に使用方法の課題が解消される方向にある。

IP電話サービス

<個人向け>

2003年 640億円 2008年予測 1,900億円（対03年比 297%）

ソフトバンクBBのYhooplBBを初めとして、ADSLサービスにおいて標準化したことから加入者数が増加した。従来は「050」のIP電話サービスが中心であったが、FTTHサービスの普及により「OAB~J」のIP電話サービスの提供が増加しており、今後は品質面から「OAB~J」方式のIP電話サービスを中心に加入者数を伸ばすと見られる。

<法人向け>

2003年市場 21億円 2008年予測 940億円（対03年比 4476%）

IP電話の品質面が大幅に改善されたことから、中小企業を中心に導入が進んでいる。またコスト削減を目的に導入する企業が増加していることから高い成長率を示している。

ブロードバンド放送

2003年加入者数（累積）8万5千人 2008年予測 200万人（対03年比 2353%）

2004年に参入企業が出揃い、市場はスタートしたばかりである。今後は、FTTHサービスの導入状況からみて、集合住宅向けから普及が進むと考えられる。FTTHの普及、提供エリアの拡大によって2005年度から市場は本格的に立ち上がると考えられ、当面はVODサービスの利用が中心になると思われる。

調査対象

調査対象ブロードバンドビジネス

調査対象	対象項目
ネットワークインフラビジネス	ブロードバンドアクセス（FTTHサービス、ADSLサービス、CATVインターネットサービス）、VPNサービス（IP-VPNサービス、広域イーサネットサービス、インターネットVPNサービス）、モバイル/ワイヤレスブロードバンド（ホットスポットサービス、FWA、3G携帯電話サービス）
プラットフォームビジネス	インターネット・サービスプロバイダー、インターネットデータセンター、コンテンツ配信プラットフォーム、ECサイト運営サービス、課金・決済プラットフォーム、IPv6サービス
関連サービス	ブロードバンド放送、音楽配信サービス、IPセントレックスサービス、IP電話サービス、テレビ会議サービス、ブログASPサービス、オンラインストレージサービス、eラーニングサービス、セキュリティサービス、モバイルコンテンツサービス

調査対象企業群 / 各種団体

通信キャリア・事業者、ISP、IDC事業者、コンテンツ関連事業者、端末機器・装置ベンダ、その他

調査期間

2004年10月～11月

調査方法

富士キメラ総研専門調査員による調査対象企業に対してのヒアリング取材、および富士キメラ総研社内データの活用により、調査・分析を行った。

資料タイトル：「2005 ブロードバンドビジネス市場調査総覧」

体裁：A4判 223頁

価格：97,000円（税込み101,850円）

調査・編集：富士キメラ総研 第三研究開発部門

TEL:03-3664-5847 FAX:03-3661-6920

発行所：株式会社 富士キメラ総研

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町2-5 F・Kビル

TEL 03-3664-5841（代） FAX 03-3661-7696 e-mail:koho@fuji-keizai.co.jp

この情報はホームページでもご覧いただけます。URL:<http://www.group.fuji-keizai.co.jp>